

敢えて女子生徒の羞恥心について考察する

中学生、高校生の頃の私にと
女子のブルマー姿を見るのは、
甘酢っぽく、胸をドキドキさせる
体験だった。(中島聰)

中田図書新聞

◆後編と前編

◆三十。分の七を堪能する

力が急速に衰えを見せる。このふたつの原因は、それが本来自体として、ふたつの力の源泉とされるとの抗概念とし、前者が弱子りたる間に見えた規範性とくに動かす。このふたつの力の源泉とされるとの抗概念とし、前者が弱子りたる間に見えた規範性とくに動かす。

三千？分の七を堪能する
行つて参りました。
「エルメール展」光の天才
画家と「デルフト」の巨匠たち。
世界に三十数点して
「デルフト」が確証されてい
下さい「エルメール」の絵画が
都美術館に集結。東京は上野にて
一挙七点、行つたのが日曜日だつ
てどいいうこともみて、
るものすごい人出。あま
りものすごいことで、他の「エル
メール」派画家たちの作品は
泣く泣く割愛し、「エルメール」七点を集中的
に鑑賞することに
点は宗教画で、最初の二
枚が大きいのに驚く。
家集でしか知らないに意外に
うところにふる。うい
みとの五点がいわゆ
る「エルメール」らしい風俗
画で、八人の紳士と女
画で読み解く「アスブルク家



羞恥心

の女性が纏つていろ赤いドレスの質感の素晴らしさなどといふたら、『手代を書く女と召使』で、画面の手前にみると、一にて、人て本当に引きそぞりである。

む王、母に見すてられ
異國で散た王妃等々、
濃密な人生を生きた彼
らはどこまでも魅力的
美しい絵画と、その
裏に潜む愛憎劇に醉い
タイトに惹かれました。

王会期は十二月十四日
集英新書刊行會
「メーリー全點踏破の旅」
がハーモディで、旅の其に
らようどよい。

惠や一流と言わる人の考え方等、利用できることをもたらすものには積極的にマネをして、人の力も借りて、必ずしも「へてからやり始めないと」は愚かだとも言つようになるに感じます。

中田図書新聞

平成20年10月28日施行

21号

うのど、印アタをしよい
と成果は出ない印はせ
ひ買つて判断してみて下
さい。

体は、魔法の
ブランケットに乗って

丁、
本村洋の3300日
ト、
君は绝望と聞えなか
れ。



秋晴れに、紅葉が美しい季節がやって来だ。寒いよおと家に籠もろには、まだ少し時間がある。週末、天気予報が快晴を保証してくれた。週末、天気予報が快晴を保証してくれた。

(小) 十国 < 予問毛。美

今年は源氏物語が誕生して千年といふこと、出版されています。その中でも、オススメ

源氏物語の京都案内

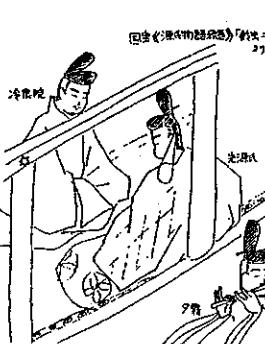
書くら 真で取に月と勝は負えしの表がり本意かれて
て曰れ涙実真リ卷異經ううといふ。人いし記にくつる駕人にはいふ。全がて録見人(本し)間Tふうてはでつ々を、
て本つて本つて正義なよえは社も際村の力くかいて
の間読みめを、九年本義はさうして会納の氏だ。防かくか生きて
義達める続も、五年本義す。うだに税上が司辞
読み進け含めを、彼主の不接えたためを、
の不接え

瓶熱い恰てし好いナレ。しつもの不
れをの茶をつめに魔法熱
。だ持つて近所の公園ニへ。
立派

二、法熱が下くみ

館で講談社の行人の「十角館」が発表され
た。行人の「十角館」は、建築家の中村青司が建
てた十角形の奇妙な館。館内に建つその館ご大学
ミスアリ研究の学生が一人一人と殺されてい
く。簡単におらすじを

はまゆニスアリ



風の谷のあの人は今

今からニスナリ又読んで
みようと思つて、しるべ
是非読むべきであります。

故森島通夫は以下の二とを言つていた。賞の選考は実際の経済の影響下にみるのはどうしてもアーティストに代表されるアメリカ経済の旗振り役のようだ。人物に偏りてしまうと。今年のノベ賞者のクルーグマンは旗を收める立場の人物で、ゆきすぎた金融経済に警鐘を鳴らしていい。翻訳され書いても喜ばしく、い書店にさりとつても喜ばし

ウレーグマハーベル

崖の上も良いけれど、
この秋、久しぶりに風
の谷に出かけます。

が「かう」というのを「風綱定中」映画の縮写もしくは「姿致」の谷で「興」て、映画や「腐海」に「留王」ら「世界」では「語ら」れています。しかし、この「世界」は「真実」ではなく、「虚構」の「誕生」の「謎」です。

編集後記：恥をかくことの分化による個人の感情力の弱体化について書いたが、それは绝望と闘う力についても言えると思う。

本村氏の行動が「物語」として消化されないことを望む。